

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間：2024年1月～12月)



国立公園三瓶山

発行日 2025年2月15日

フジタ資源株式会社

1. 事業活動の概要

(1) 事業所名および代表者名

事業所名 フジタ資源株式会社

代表取締役 藤田昌信

(2) 所在地

事務所 島根県大田市大田町大田イ 282 番地 5

一般廃棄物

(積替え・保管場所) 島根県大田市大田町大田口 183 番地 11

(3) 環境管理責任者および連絡先

環境管理責任者 藤田昌信

連絡先電話番号 0854-84-5420

FAX 番号 0854-84-5412

(4) 事業活動内容

産業廃棄物・一般廃棄物及び家電リサイクルの収集・運搬（一般廃棄物については、積替え・保管を含む）、古物商（リサイクル品の展示販売）

(5) 事業規模

創業年月日 2023 年 5 月 10 日

資本金：300 万円 年間売上高：区分 A

事業年度（2024 年 1 月～12 月） 従業員数：4 人

<許可の内容>

許可名・許可番号	許可年月日	事業の範囲
一般廃棄物処理業 大田市 衛第 10007 号	許可 令和 5 年 6 月 12 日 有効 令和 7 年 6 月 11 日	大田市全域における一般廃棄物 収集運搬業 積替え・保管（保管面積 30 m ² ） （保管数量の上限 10 m ³ ）
一般廃棄物処理業 川本町 5 第 2 号	許可 令和 5 年 7 月 1 日 有効 令和 7 年 6 月 30 日	川本町内全域における 一般廃棄物収集運搬業
一般廃棄物処理業 許可美郷住第 94 号	許可 令和 5 年 7 月 1 日 有効 令和 7 年 6 月 30 日	美郷町全域における一般廃棄物 収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業 島根県 03200234928	許可 令和 5 年 7 月 3 日 有効 令和 10 年 7 月 2 日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、 廃プラスチック類、紙くず、木 くず、繊維くず、動植物残さ、 ゴムくず、金属くず、ガラスく ず等、がれき類、以上 13 品目。 石綿含有産業廃棄物及び水銀使 用製品産業廃棄物であるものを 含み、特別管理産業廃棄物であ るものを除く。

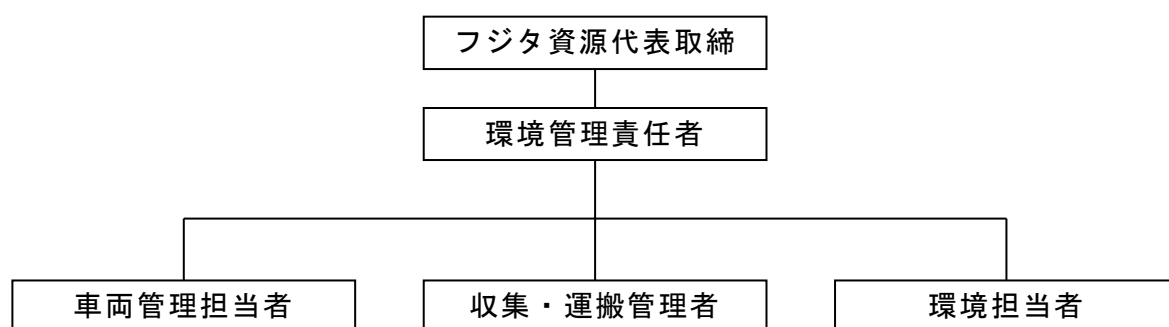
(5) 施設等の内容（保有車両の状況等）

敷地面積	4 4 3 m ²	
延床面積	事務所 3 0 m ²	
	倉庫 2 8 6 m ²	
事務所	営業車	1 台
運搬車	4 tトラック	1 台（クレーン付）
	3 tトラック	1 台（ゲート付）
	2 tトラック	1 台（ゲート付）
	軽車両トラック	2 台

(6) 受託した廃棄物の処理量（2024 年度）

処理方法等	廃棄物等種類	処理量	単位
収集運搬	家電機器(家電リサイクル品)	14,000	台
	(産業廃棄物) 廃プラスチック	24.3	t
	(産業廃棄物) 金属	18.5	t
	(産業廃棄物) ガラスくず	7.7	t
	(産業廃棄物) 木くず	10.2	t
処理方法等	廃棄物等種類	処理量	単位
収集運搬	(一般廃棄物) 可燃物	63.6	t
	(一般廃棄物) 不燃物	23.8	t

(7) 環境管理組織図



- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------------|
| ① 運搬車両の燃料管理 | ① 燃料消費の削減 | ① 環境管理責任者の補佐 |
| ② 環境管理責任者への情報提供 | ② 廃棄物の排出量等を把握し | ② 外部コミュニケーション窓口 |
| ③ 車両の整備に関すること | ③ 適切な収集運搬計画の実施 | ③ 環境活動への積極的な
取り組みの実施 |

(8) 認証登録範囲

全組織・全活動を登録範囲とします

2. 環境方針

I. 基本理念

当事業所は、一般廃棄物、産業廃棄物及び家電リサイクル品の収集運搬業務に従事しております。環境への負荷の軽減を重視し、事業活動において地球環境に優しい運搬業務に心がけ、全員で環境への意識を高め、負荷軽減に取り組んで行きます。

II. 基本方針

- 事業活動において、環境関連法規を厳守し業務にあたります。
- 事業活動に伴う、燃料、光熱水量及び廃棄物の削減に努めます。
- 収集運搬ルート効率化を図り、CO₂排出抑制に努めます。
- 収集運搬時廃棄物の分別・減量・再利用化に努めます。
- エコマーク商品やグリーン製品の購入を推進しグリーン調達活動の向上に努めます。
- 明るい職場作りと、人材育成に努めます。
- 環境方針は全従業員に周知させます。また、環境活動状況を一般に公開します。
- 環境経営への持続的改善に努めます。

制定日 2009 年 5 月 27 日

改訂日 2022 年 4 月 10 日

フジタ資源株式会社

代表取締役 藤田昌信

3. 環境目標と実績

(1) 環境目標

①2024 年度は 2023 年度基準値に対して二酸化炭素排出量・自店廃棄物排出量・水道使用量について 1%削減を設定し、活動します。

②中長期目標は 2023 年度とし、下表の通りにします。

③目標値は従来通り、売上高(百万円)当りの原単位で設定します。

(グリーン調達・一般廃棄物の再利用化を除く)

環境目標		管理項目	2023(基準)年度実績		2024年度 目標	2025年度 目標	2026 年度 目標
			総量	原単位	削減率 1%	削減率 2%	削減率 3%
二酸化炭素 排出量の削減	化石 燃料 消費 量 削減	灯油消費量(ℓ)	774.00	21.50	21.29	21.07	20.86
		ガソリン消費 (ℓ)	2842.22	78.95	78.16	77.37	76.58
		軽油消費量(ℓ)	5711.22	158.65	157.06	155.48	153.89
		化石燃料二酸化炭素排出量 (kg-co ₂)	23537.98	653.83	647.29	640.75	634.22
	電力 消費 量 削減	電力消費量 (kWh)	4171.00	115.86	114.70	113.54	112.38
		二酸化炭素 排出量 (kg-co ₂)	2173.09	60.36	59.75	59.15	58.55
	合計	二酸化炭素 総排出量 (kg-co ₂)	25711.07	714.20	707.06	699.92	692.77
自店廃棄物排出量の削減		廃棄物排出量 (m ³)	1.63	0.05	0.05	0.05	0.05
水道使用量の削減		上水道使用量 (m ³)	17	0.47	0.47	0.46	0.46
収集運搬した一般廃棄物の再利用化		年間再利用率 排出量の 10%	目標	6.27%	10%	10%	10%
グリーン調達の推進		事務用品購入 目標 25%	目標	40%	25%	25%	25%

※ (購入電力) 令和 3 年度、中国電力二酸化炭素実排出係数は 0.521 kg-co₂/ kWhです。

※ 一般廃棄物の再利用は、収集運搬した一般廃棄物です。

※ 化学物質は取扱っていません。

(2) 実績(2023年度～2024年度)の比較は、次の通り。

環境項目		2023 年度	2024 年度
二酸化炭素 総排出量の削減	総量	25,711.07kg-co ₂	25629.38kg-co ₂
	原単位	714.20kg-co ₂	760.52kg-co ₂
化石燃料消費量削減	総量	23,537.98kg-co ₂	22905.59kg-co ₂
	原単位	653.83kg-co ₂	679.69kg-co ₂
電力消費量削減	総量	2,173.09kg-co ₂	2723.79kg-co ₂
	原単位	60.36kg-co ₂	80.82kg-co ₂
自店廃棄物 排出量の削減	総量	1.63 m ³	1.35 m ³
	原単位	0.05 m ³	0.04 m ³
水道使用量の削減	総量	17 m ³	22 m ³
	原単位	0.47 m ³	0.65 m ³
グリーン調達の推進(事務用品) 目標 25%		40%	23%
収集運搬した一般廃棄物の再利用化 (目標 10%)		6.27%	7.7%

※原単位は売上高の(百万円)当たり。

○二酸化炭素総排出量は、絶対量で2023年度比 81.69kg-co₂の減量

原単位で 46.3kg-co₂の増量

○化石燃料消費量の削減は、絶対量で2023年度比 632.39kg-co₂の減量

原単位で 25.86 kg-co₂の減量

○電力使用量の削減は、絶対量で2023年度比 550.7 kWh/M¥増量

原単位で 20.46kWh/M¥増量

○自店廃棄物排出量の削減は、絶対量で2023年度比 0.28 m³の減量

原単位では、0.01 m³減量となった

○水道使用量の削減は、絶対量で2023年度比 5 m³増量

原単位では、0.18 m³増量となった。

○グリーン調達の推進は、今年度購入実績 23%で、目標の 25%は達成出来なかった。

○収集運搬した一般廃棄物の再利用は、目標の 10%には至らず 7.7%となった。

4. 主要な環境活動の内容

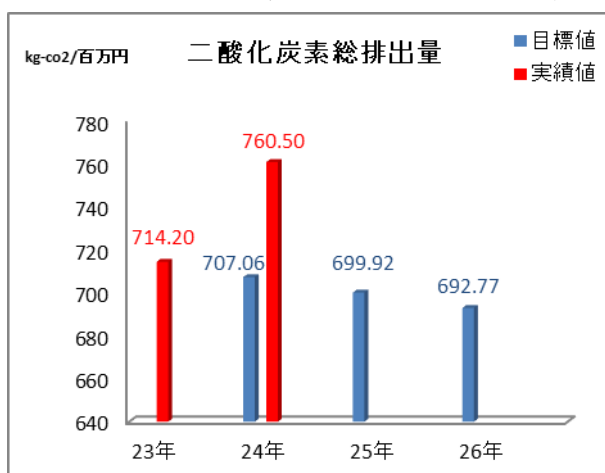
二酸化炭素 排出量の削減	1・化石燃料消費量の削減	① アイドリングストップ等運転方法に配慮する。 ② 廃棄物の排出量等を把握し、走行距離の短縮化を図り適切な収集運搬計画を励行する。 ③ 暖房温度（20℃）温度管理の徹底（灯油）
	2・電力消費量の削減	① エアコンの適温設定の徹底。 （冷房 28℃、暖房 20℃） ② エアコンの使用時間の抑制。 ③ 事務所における照明器具の節電管理。
自店廃棄物排出量の削減		使用済み用紙裏紙の再利用を行う。
水道使用量の削減		雨水の貯留による積極的活用。
グリーン調達の推進		グリーン製品やエコ商品を優先的に購入する。
収集運搬した一般廃棄物の再利用		分別・減量・再利用化に努める。
経営における課題とチャンスの明確化		明るい職場作りと人材育成に取り組む。

5. 環境活動の取組結果の評価「原単位は、売上高（百万円）当たり」

取組計画	結果	達成状況
二酸化炭素排出量の削減 1・化石燃料消費量の削減 ① アイドリングストップ等運転方法に配慮する。 ② 廃棄物の排出量等を把握し走行距離の短縮化を図り適切な収集運搬計画を励行する。 ③ 暖房温度（20℃）温度管理の徹底（灯油）	kg-co₂/百万円 化石燃料消費量 2023 年度（基準値）比 原単位 25.86 kg-co₂ 増量 総量 632.39kg-co₂ 減量	・目標 2023 年度実績に対し 1%削減 ・実績 原単位では 3.96% 増量（目標未達成） 総量では 2.69%減量

取組計画	結果	達成状況
2・電力消費量の削減 ① エアコンの適温設定の徹底。（冷房 28℃、暖房 20℃） ② エアコンの使用時間の抑制。 ③ 事務所における照明器具の節電管理。	kg-co₂/百万円 電力消費量 2023 年度（基準値）比 原単位 20.46 kWh/M¥増量 総量 550.7Wh/y 増量	・目標 2023 年度実績に対し 1%削減 ・実績 原単では 33.90%増量（目標未達成） 総量では 25.34%増量

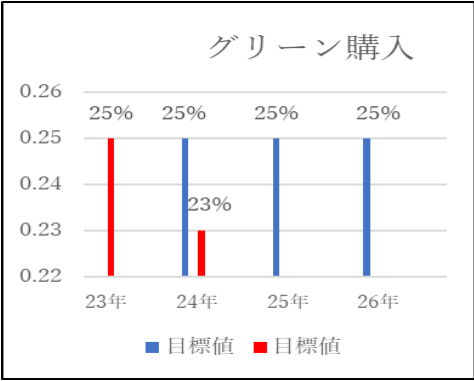
○2023 年度比に対しての二酸化炭素総排出量（原単位）

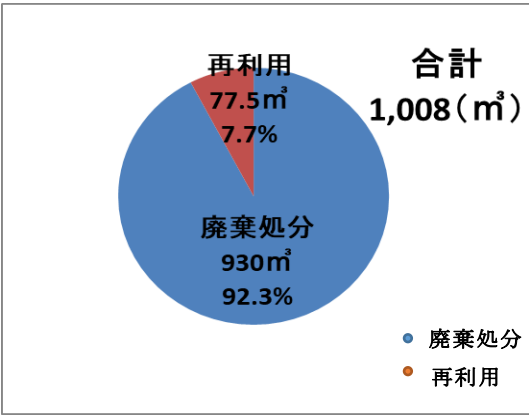


（二酸化炭素総排出量・原単位 6.49%増量）

取組計画	結果	達成状況															
自店廃棄物排出量の削減 ・使用済み用紙裏紙の再利用を行う。	<table border="1"> <caption>自店廃棄物排出量 (kg-co2/百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年</td> <td>-</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>0.05</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>0.05</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>0.05</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> 2023 年度（基準値）比 原単位 0.01 m³ 減量 総量 0.28 m³ 減量	年度	目標値	実績値	23年	-	0.05	24年	0.05	0.04	25年	0.05	-	26年	0.05	-	・ 目標 2023 年度 実績に対し 1%削減 ・ 実績 現単位では、 20%減量 （目標達成） 総量では 17.18%減量
年度	目標値	実績値															
23年	-	0.05															
24年	0.05	0.04															
25年	0.05	-															
26年	0.05	-															

取組計画	結果	達成状況															
水道使用量の削減 ・雨水の貯留による積極的活用。	<table border="1"> <caption>水道使用量 (m/百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年</td> <td>-</td> <td>0.47</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>0.40</td> <td>0.65</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>0.40</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>0.40</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> 2023 年度（基準値）比 原単位 0.18 m³ 増量 総量 5.0 m³ 増量	年度	目標値	実績値	23年	-	0.47	24年	0.40	0.65	25年	0.40	-	26年	0.40	-	・ 目標 2023 年度 実績に対し 1%削減 ・ 実績 原単位では 38.30 % 増 量 （目標未達成） 総量では 29.41%増量
年度	目標値	実績値															
23年	-	0.47															
24年	0.40	0.65															
25年	0.40	-															
26年	0.40	-															

取組計画	結果	達成状況															
<u>グリーン調達</u>の推進 ・グリーン製品やエコ商品を優先的に購入する。	グリーン購入  <table border="1"> <caption>グリーン購入実績</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年</td> <td>25%</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>25%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>25%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td>25%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年次	目標値	実績値	23年	25%	25%	24年	25%	23%	25年	25%	-	26年	25%	-	2024 年度 ・ 目標 25% ・ 実績 23% (目標未達成)
年次	目標値	実績値															
23年	25%	25%															
24年	25%	23%															
25年	25%	-															
26年	25%	-															

取組計画	結果	達成状況												
<u>収集運搬した一般廃棄物の再利用</u> ・分別・減量・再利用化に努める。	再利用率  <table border="1"> <caption>一般廃棄物の再利用実績</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>体積 (m³)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再利用率</td> <td>77.5</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>廃棄処分</td> <td>930</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,008</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> (年間再利用率)	項目	体積 (m³)	割合 (%)	再利用率	77.5	7.7%	廃棄処分	930	92.3%	合計	1,008	100%	2024 年度 ・ 目標 年間排出量の10%再利用 ・ 実績 7.7%再利用 (目標未達成)
項目	体積 (m³)	割合 (%)												
再利用率	77.5	7.7%												
廃棄処分	930	92.3%												
合計	1,008	100%												

一般廃棄物の再利用（店舗販売）



5. 全体の取組状況の確認及び評価と今後の方針

目標達成状況

環境項目		2023 年度	2024 年度	達成状況	評価
二酸化炭素総排出量の削減	総量	25.711.07Kg-CO ₂	25629.38Kg-CO ₂	0.32%減	△
	原単位	714.20Kg-CO ₂	760.52Kg-CO ₂	6.49%増	
化石燃料消費量削減	総量	23.537.98Kg-CO ₂	22905.59Kg-CO ₂	2.69%減	△
	原単位	653.83Kg-CO ₂	679.69Kg-CO ₂	3.96%増	
電力消費量削減	総量	2.173.09Kg-CO ₂	2723.79Kg-CO ₂	25.34%増	×
	原単位	60.36Kg-CO ₂	80.82Kg-CO ₂	33.90%増	
自店廃棄物排出量の削減	総量	1.63 m ³	1.35 m ³	17.18%減	○
	原単位	0.05 m ³	0.04 m ³	20%減	
水道使用量の削減	総量	17 m ³	22 m ³	29.41%増	×
	原単位	0.47 m ³	0.65 m ³	38.30%増	
グリーン調達の推進(事務用品)(目標 25%)		40%	23%	未達成	×
収集運搬した一般廃棄物の再利用化 (目標 10%)		6.27%	7.7%	未達成	×

※評価値は「実行出来た」は(○)「総量又は、原単位では出来た」は(△)「出来なかった」は(×)

※グリーン調達の推進状況は(文具用品年間購入金額)データによるものである。

※原単位は、売上高の(百万円)当たり。

・化石燃料使用量の削減について

化石燃料の削減では「基準年度」比に対して、原単位で 3.96%増量、絶対量では 2.69%の減量となり、絶対量比では削減できたが、原単位では増量となっている。

化石燃料(ガソリンと軽油)の消費量は、2023 年度(軽油消費量) 5.7110使用

今年度は、(軽油消費量) 5.7200使用、また、2023 年度(ガソリン消費量)は 2.8420で

今年度は、(ガソリン消費量) 2.6910となり、軽油とガソリンの消費量は、ほぼ同量である

次年度も、回収ルートの設定や、エコドライブの実施を、周知徹底して化石燃料使用量の削減に努めたい。

・電力使用量の削減について

電力量の削減では「基準年度」比に対して、原単位で 33.90%増量、絶対量で 25.34%の増量となった、原単位、絶対量ともに増量となっている。

増量の要因は、近年の気候変動により猛暑日が多くエアコンの使用期間が長くなった為と思える。エアコンの設定温度 20 度での使用を徹底して、引き続き次年度も節電に取り組んでいきたい。

・二酸化炭素の総排出量の削減

総排出量では「基準年度」比に対して、原単位で 6.49%増量、絶対量では 0.32%の減量となったが、原単位での削減は出来なかった。

引き続き継続的改善を図り、削減に努めたい。

- ・ 自店廃棄物排出量の削減について

一般廃棄物の削減では「基準年度」比に対して、原単位で 20%減量、絶対量で 17.18%の減量となり、目標達成となっている。

引き続き再利用や、分別に取り組み、自店廃棄物排出量の削減に取り組んでいきたい。

- ・ 水道使用量の削減について

水使用料の削減では「基準年度」比に対して、原単位で 38.30%増量、絶対量で 29.41%の増量となった、増量の要因は、夏場の洗車回数が多くなっていた為と思える。

今後も洗車時の水の使用法を見直し、削減に努めたい。

- ・ グリーン調達の推進について

購入目標の 25%に対し、購入実績 23%と、目標は達成出来なかった。

引き続きグリーン調達に取り組んで行きたい。

- ・ 収集運搬した一般廃棄物の再利用

再利用率（年間目標 20%）で今年度の再利用率は全体の 7.7%に留まった。

（一般家庭の片付けで、再利用可能な物をリサイクル品として販売に持ち込めた数値である）再利用できるものは限られているが、分別の徹底で、再利用化に努め廃棄物の削減に取り組んで行きたい。

- **次年度の環境経営目標及び環境経営計画**

次年度の環境目標は、2023 年度実績値を基準年度とし、環境活動計画は今年度のものを持続します。

6.代表者コメント（総合評価及び今後の方針）

今年度より、2023 年度を基準値とし、環境活動に取り組んでまいりました。
年間を通して、二酸化炭素の総排出量は、基準年度比（2023 年度）総量で 0.32%の減量となっているが、原単位では、6.49%の増量となっている。

また、化石燃料使用量の削減においては、基準年度比（2023 年度）では今年度、総量で、2.69%の削減、原単位で 3.96%の増量となった。
但し、二酸化炭素の総排出量と、化石燃料使用量は、総量において、ともに削減となっている。
次年度も、更に的確な運搬ルートの設定と、エコドライブの実施を、周知徹底して化石燃料使用量の削減に努めたい。

電力消費量の削減は、総量、原単位ともに増量となっている。
やはり、夏場のエアコンの使用期間と稼働時間が長くなった為と思える。
温度設定 28℃を徹底して、電力消費量の削減に取り組んでいきたい。

また、水道使用量の削減では、基準年度比（2023 年度）で、今年度は総量で 29%の増量となり課題を残す結果となっている。

自店廃棄物排出量の削減や、一般廃棄物の再利用化などは、全員が前向きに取り組んでいると思います。
今後も環境に配慮した事業活動と、環境経営システムの構築に取り組んでゆきたい。

次年度も、現在の環境目標のもと、更に持続的改善を図り、環境への負荷軽減に努めたい。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規名	該当項目	要求事項	厳守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬	○廃棄物の適正処理	適合
	一般廃棄物収集運搬		適合
家電リサイクル法	家電リサイクル収集運搬	○リサイクル券の発行 ○対象機器の適正処理	適合
古物営業法	リサイクルショップの開業 （資源の再利用）	○許可証の携帯 ○盗品などの売り買いの防止 ○国家公安委員会規則で定める様式の標識を掲示	適合

環境関連法規の遵守状況は良好で違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。
同様に訴訟や苦情もありません。